

第3回小松空港ターミナルビル基本構想検討会議 議事概要

日時：令和8年1月19日（月） 13：30～15：00

場所：石川県庁行政庁舎1109会議室

事務局からの資料説明後、以下の意見交換がなされた。

○ターミナルビルの機能強化について

- 空港の賑わいの創出にあたっては、民間の知見を活かして、小松空港ならではの施設を整備することが必要ではないか。例えば温浴施設を整備するなどが考えられる。
- C I Q業務の円滑な遂行に必要な施設整備の具体的内容については、今後、関係者と調整しながら検討していくことが必要である。
- 行政庁舎の併設については、空港関係者だけでなく、庁舎利用者や関係機関の意見を十分に聞きながら検討を進めるべき。
- 二次交通に関して、段差のない乗り場など、バリアフリーやユニバーサルデザインの観点からの配慮も重要である。
- 今後の進め方について、スケジュール感を示すべき。

○空港運営等への民間活力・知見の導入について

- 小松空港における航空機の運航にあたっては、現在、空港事務所と小松基地との間で日頃から緊密な連携を取りながら連絡調整を行っており、民間活力・知見を導入していく上では、そうした機能に支障が出ない形のスキーム作りが重要になる。
- 小松空港は防衛省の施設であり、日頃の施設整備にあたっては、スクランブル発進など様々な事態に配慮しながら進めており、民間活力の導入にあたっては、こうした点も踏まえたスキームが必要。
- 民間事業者の知見を活用していく上では、民間事業者から良い提案を引き出せるような工夫が必要であり、そのためのサウンディングや意見交換を進めていただきたい。

以 上